

様式（評価機構フォーマット版）

令和5年度 自己評価報告書

（専門学校等評価基準 Ver.4.0 準拠版）

令和6年4月26日
福岡市医師会看護専門学校

目 次

令和5年度の重点目標の評価	1	5-16 就職等進路.....	24
基準1 教育理念	3	5-17 中途退学への対応.....	25
1-1 理念・目的・育成人材像.....	4	5-18 学生相談.....	26
基準2 学校運営	5	5-19 学生生活.....	27
2-2 運営方針.....	6	5-20 保護者との連携.....	29
2-3 事業計画.....	7	5-21 卒業生・社会人.....	30
2-4 運営組織.....	8	基準6 教育環境	31
2-5 人事・給与制度.....	9	6-22 施設・設備等.....	32
2-6 意思決定システム.....	10	6-23 学外実習、インターンシップ等.....	33
2-7 情報システム.....	11	6-24 防災・安全管理.....	34
基準3 教育活動	12	基準7 学生の募集と受入れ	35
3-8 目標の設定.....	13	7-25 学生募集活動は、適正に行われているか.....	36
3-9 教育方法・評価等.....	14	7-26 入学選考.....	37
3-10 成績評価・単位認定等.....	16	7-27 学納金.....	38
3-11 資格・免許の取得の指導体制.....	17	基準8 財務	39
3-12 教員・教員組織.....	18	8-28 財務基盤.....	40
基準4 学修成果	19	8-29 予算・収支計画.....	41
4-13 就職率.....	20	8-30 監査.....	42
4-14 資格・免許の取得率.....	21	8-31 財務情報の公開.....	43
4-15 卒業生の社会的評価.....	22	基準9 法令等の遵守	44
基準5 学生支援	23	9-32 関係法令、設置基準等の遵守.....	45
		9-33 個人情報保護.....	46
		9-34 学校評価.....	47
		9-35 教育情報の公開.....	48

基準 10	社会貢献・地域貢献	49
10-36	社会貢献・地域貢献	50
10-37	ボランティア活動	51

令和 5 年度の重点目標の評価

学校の教育理念・目標	令和 5 年度重点目標	重点目標・計画の達成状況	課題と解決方策
<p>誠実で礼節を尊ぶところを基調とし、保健医療福祉における社会のニーズをとらえ、地域住民の生活や健康に関心を寄せ、「人々の健康を守り安心・安全な生活を支える」看護実践者を育成する。</p> <p>【 人材 】 誠実：私利私欲をまじえず、情が深く真心があり、純粋に善良なことを行うこと。 礼節：人間関係や社会生活の秩序を保ち、人として守るべき行動を相手を思い節度を持っておこなうこと。 慈愛：常に慈しむ深い愛情を注ぐこと。 博愛：すべての人々を平等に愛すること。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学生・生徒一人ひとりの主体性を高めるような学習支援を行う。 2. 学生・生徒の成長に向けて自己評価を効果的に運用する。 3. カリキュラムの円滑な運用を図る。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学科目標、学年目標の立案に伴った実施の不足があり、達成は不十分であった。主体的に取り組む学生も増加しているが、個別指導を要する機会も増えている。 2. 授業・実習アンケートを実施しており、評価は概ね良い。アンケート結果は講師へ伝えている。アンケート回収率に差があることがあり、適切な結果になっているか疑問となっている場合もある。就職先へのアンケートは今回初めて実施し、課題が明確となった。成績低迷者は早期に面談や支援体制を検討し対応できた。 3. 第 1 看護学科・准看護科は 2 年間ラーニングシステムを活用した、円滑で効果的、経済的な運用ができています。第 2 看護学科は活用しはじめた年であったため、慣れることに時間を要し負担となっていた。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主体性を高める個別対応を強化していく。また、技術・学習指導の担当を検討し対応する。 2. アンケート回収時期の検討、周知の徹底を行い、回収率を上げていく。就職先アンケートは引き続き実施し、課題を明確にした上で改善策を実施していく。成績低迷者へは更なる個別支援体制を強化していく。 3. ラーニングシステムでは、確実な情報確認を徹底していく。また、令和 5 年度第 2 看護学科では新カリキュラムと旧カリキュラムが并行となるため、講師や実習施設の混乱が予測される。通常より連絡調整を強化する。

	<p>4. 看護師国家試験・准看護師試験の全員合格を目指す。</p> <p>5. 入学生の確保と就職支援に努める。</p> <p>6. 退学者、休学者、留年者をださない。</p> <p>7. 教職員の資質向上に努める。</p>	<p>4. 模擬試験の活用・分析、個別支援を行った。准看護科は 100%合格、第1・2看護学科は達成ができなかった。</p> <p>5. オープンキャンパスを継続実施した。学生企画の内容とし、自由見学できるように変更をした。また、学校訪問を学校長中心に実施を行った。インスタグラムの開設をしたが、後半の投稿が少なかった。看護師対策係からの支援は通常通り実施した。第2看護学科のみ定員を満たす結果となった。</p> <p>6. 全科とも休学者、退学者は減少していない。休退学の理由は、成績低迷、経済的理由、目的意識の希薄さであった。</p> <p>7. 新カリキュラムと旧カリキュラムの混合での運用で多忙であったが、遠隔での参加が可能な状況から個々が研鑽を積んだ。また、今年度初めての「ハラスメント防止研修」を実施した。</p>	<p>4. 全国平均は上回ったが入学後から国家試験、資格試験を見据えた経年的な対策の構築が必要である。模擬試験等の業者試験結果の分析を支援に活用する。</p> <p>5. 広報にあたる担当者を増員し、学校訪問の更なる実施強化、イベント等開催時における入試・オープンキャンパス案内のチラシ配布、入試科目の選択式導入、入試日程変更、入試回数の増加など多くの入学生確保のための対策を実施していく。</p> <p>6. 教員のチューター制、全生徒のピアサポート制を導入し、早期対策に繋げる。早期面接等により支援体制を強化する。カウンセラーとの連携も強化していく。</p> <p>7. 次年度も同様に新たな研修会やセミナーを周知し自己研鑽に努める。</p>
--	---	---	---

最終更新日付	令和6年5月29日	記載責任者	稲田 由香里
--------	-----------	-------	--------

基準 1 教育理念

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育理念及び目的は、学則等で明確に定めている。便覧、シラバス、実習要項、学校案内等で示し、学生生徒・教職員に周知している。</p> <p>学外への公表は、ホームページを活用している。令和 2 年度にホームページをリニューアルして以来、3 科の情報や学校行事等について随時、情報提供している。様々な支援制度をタイムリーにホームページに掲載し支援体制を強化している。</p> <p>第 1 看護学科及び准看護科は、新カリキュラムを運用し 2 年を経過した。運用に際しては、Cラーニングを採用し、学習能力の向上、ペーパーレス化、連絡報告相談の充実を推進した。第 2 看護学科は令和 5 年度入学生から運用している。新たな教育理念のもと、概ねシラバスに則った教育が実施できた。第 2 回の地域文化祭も多く地域の方が参加され目的は達成できた。</p>	<p>特色：福岡市で生活するあらゆる年齢や健康段階の人々に積極的に関り地域医療に貢献できる看護師・准看護師を育成している。また、専門職業人として必要な倫理的な態度や責務を自覚し、保健医療福祉チームの中で共同できる能力の育成を目指している。</p> <p>本校は、「大正」「昭和」「平成」「令和」と幾多の時代を超えた歴史を持つ伝統ある看護師養成校である。平成 27 年に第 1 看護学科を新設し、第 1 看護学科、第 2 看護学科、准看護科の 2 課程 3 科 540 名の学生・生徒が在籍する「総合的看護専門職養成校」である。令和 5 年度末における卒業生数は、准看護科 13,902 名、第 2 看護学科 3,469 名、第 1 看護学科 499 名と合計 17,870 名である。地域医療に貢献すべく卒業生の 8 割は地元福岡の医療機関に就職し活躍している。</p> <p>医師会に関係する方々の協力により実習施設は、全て福岡市内の医療機関であり、非常勤講師も大学病院や医師会会員施設から協力を得ている。</p> <p>看護師国家試験は全国平均を上回り、准看護師試験の合格率は 100%であり、高い合格実績がある。</p>

最終更新日付

令和 6 年 5 月 29 日

記載責任者

稲田 由香里

1-1 理念・目的・育成人材像

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	3科で教育目的・教育目標・卒業生像を設定している。	便覧や臨地実習要項に明記している。学生生徒・実習指導者に説明している。	周知徹底を強化する。	便覧 シラバス 臨地実習要項 自己評価冊子
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	教育目標を到達すべく毎年、年度計画、学年カリキュラムを計画している。	会員施設（実習施設）から講師派遣を依頼し教育の連携を図っている。また、会員施設、公的施設での実習を実施し協力を得ている。	各評価から到達度評価までの評価体制づくりに努める。	
1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	会員講師や会員施設と連携し教育活動を実施している。	地域住民の生活理解ができるカリキュラムを実施し、医療保健福祉それぞれで学ぶことができる環境を整えている。	新カリキュラムの地域貢献・地域との連携を目的に「地域文化祭」を継続実施する。	
1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	管理者会議で将来構想を策定する。	年度初めの教職員会議で周知する。	社会のニーズを把握し将来構想を策定する時期を計画する。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育理念、教育目的、教育目標、卒業時の到達目標を教職員が常に意識しながら教育できる評価体制づくりを目指している。更に評価に関する組織的・継続的な改善を図りたい。	

基準 2 学校運営

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>運営方針は文書化、教職員への周知している。また、各課に年間の教育計画を定め運用している。</p> <p>各科の教職員や各種委員会、各会議は役割遂行のため機能し、アンケートにより課題を抽出し対応している。</p> <p>運営組織図を作成し、組織運用し、必要時規定等を整備し運営している。就業規則や規定を整備し、サイトに掲載し周知している。必要時、採用広報を行い、人材を確保している。</p> <p>おおよそ項目に沿った学校運営できている。</p>	<p>母体である福岡市医師会事業計画、教育理念に基づき運営方針、組織整備等を行っている。</p> <p>第1看護学科、第2看護学科、准看護科の2課程3科540名の学生・生徒が在籍する「総合的看護専門職養成校」である。</p>

最終更新日付	令和6年5月29日	記載責任者	稲田 由香里
--------	-----------	-------	--------

2-2 運営方針

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	運営方針の実行は、定期的 に開催される運営会議で検討 され決定している。入試関係は、 入試後に開催される入試委員 会で検討され決定している。	決定した内容を教職員で 遂行している。運営方針は文 書化し、年度初めに教職員へ 配布し周知している。緊急時 は、一斉メールで伝達してい る。	運営方針は、運営会議で可決 後になるため周知までタイム ラグがある。	便覧 運営会議議事録 入試委員会議事録 学則 就業規則

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育理念のもと運営方針を定め、周知を図り運営されている。	

最終更新日付	令和6年5月29日	記載責任者	稲田 由香里
--------	-----------	-------	--------

2-3 事業計画

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	設立母体の医師会の事業計画を基本に定めている。 看護学校運営規定に則り運営している。	科ごとに年間の教育計画を定め運用している。共通行事に関しては教員会議、課長会議、管理者会議で検討し運営会議に諮り運用している。事業の結果についてはアンケート調査等を行い、次年度の検討課題にしている。 中期計画を定め、事業計画の担当等を明確にしている。	事業計画の事業目標を明示し、事業計画の状況及び見直しの時期・内容を明確にしている。	学校行事予定 各科学時、年間計画表 運営会議資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校運営の事業計画を策定し、年間計画や教育計画を作成し運営されている。事業目標や事業計画の見直しの時期・内容を明確にする必要がある。	

最終更新日付	令和6年5月29日	記載責任者	稲田 由香里
--------	-----------	-------	--------

2-4 運営組織

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	行っている。	運営組織図を作成し、組織運用している。 運営会議を実施し、議事録を作成している。	特に問題ない	学校組織図
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	整備している。	各科の教職員や各種委員会、各会議は役割遂行のため機能している。 実習指導者会議は対面やWeb会議で運用できている。 組織図等を整備し、規定等を整備し運営している。	特に問題ない	業務分掌 運営会議資料 管理者会議資料 課長会議資料 各科教員会議資料 図書委員会資料 教材委員会資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各会議で審議した内容は議事録として保管し教職員に伝達し運用している。 学校の主要な行事等は、全て運営会議で審議し決定し運用している。	

最終更新日付	令和6年5月29日	記載責任者	稲田 由香里
--------	-----------	-------	--------

2-5 人事・給与制度

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	人事については、所定の手続きを経て庶務会議、理事会議で適正に行われている。 給与に関しては、事務部門で整備している。	就業規則や規定を整備し、サイトに掲載し周知している。必要時、採用広報を行い、人材を確保している。	多様な方法で広報活動を行っているが、人材確保ができてこともあるため、広報強化を図っていく。	給与表 庶務会議資料 理事会議資料 人事考課

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
人材の増減や確保に関しては適宜把握している。 人事考課、昇格、昇給、賞与、有休に関するの制度は完備している。	

最終更新日付	令和6年5月29日	記載責任者	稲田 由香里
--------	-----------	-------	--------

2-6 意思決定システム

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	整備している。	学校の運営上必要な事項は、運営会議に諮り決定している。 管理者会議、運営会議等で決定した内容は各科会議で周知している。 オンライン会議が増加したが運営に影響はない。	書面会議の場合における質疑応答が難しい。	管理者会議議事録 運営会議議事録 運営会議規定 学則

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
意思決定システムは整備され制度化されている、決定内容は周知し実施している。	

最終更新日付	令和6年5月29日	記載責任者	稲田 由香里
--------	-----------	-------	--------

2-7 情報システム

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-7-1 情報システム化 に取組み、業務の効率化を図っているか	学生情報の共有システムはある。新カリキュラムに向けてC-ラーニングを運用し業務の効率化を図る。	学生・生徒の個人情報に関する情報は一括管理できている。C-ラーニング導入に伴いペーパーレス化が進むと共に学生・生徒への伝達等の効率化が図れている。	ラーニングシステムの効果的運用ができていない点もあるため、周知を図っていく。	学生管理 成績管理 卒業管理 出席管理表 各室使用予約表 C-ラーニング

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生・生徒の情報管理システムは一括管理されている。C-ラーニングを活用して教員の業務の効率化を更に推進する。	

最終更新日付

令和6年5月29日

記載責任者

稲田 由香里

基準 3 教育活動

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>理念に沿った目標の設定、到達レベルを明確にして対応している。</p> <p>教育目的に沿った講義、演習、実習等の計画を立て実施した。アンケートにて授業評価を行い、結果を反映させ改善に取り組んでいる。</p> <p>ICT 活用としたCラーニングでの学習や情報共有は一気に進み、電子教科書を使用した学習やアクティブラーニングも概ね順調に進んだ。</p> <p>准看護科は技術演習において、数年前から共同学習を取り入れ学習成果を上げている。共同学習に関しては更に成果が上がるよう取り組みたい。</p> <p>ポートフォリオやルーブリック評価、共同学習など教育評価方法・教育方法の見直しや学習会を計画している。</p> <p>授業評価・実習評価を教育評価に繋げ、教育の質の向上を目指す取り組みを推進する。</p> <p>年度初めには年間計画に沿っての教員の学会・研修の推進を行っている。</p>	

最終更新日付	令和 6 年 5 月 29 日	記載責任者	稲田 由香里
--------	-----------------	-------	--------

3-8 目標の設定

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	毎年、教育の到達に向けたカリキュラムを計画している。カリキュラム・学科進度を考慮して時間割を組み立てている。教科外活動は、毎年見直し検討している。	年度初めに便覧を配布し学習ガイダンスを実施している。学科進度表をシラバスに掲示し学習内容の確認や共通理解を図っている。	教育理念を意識した学習ガイダンスやオリエンテーションになるよう教員間で共通認識を図る。	便覧 実習要項 シラバス 年間計画書
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	終了試験や実技試験で到達レベルを確認している。	終了試験や実技試験が過密にならないよう配慮した時間割を作成している。学生・生徒が計画的に学習できるように可能な限り早期に時間割を提示している。 ポートフォリオやビジョンゴールシートで各自の目標を設定し目標到達に向けて主体的な活動を支援している。 実習の技術経験や卒業時にアンケート調査を実施している。	各自が主体的にポートフォリオやビジョンゴールシートを活用し学習成果を上げるよう個別的な支援が必要である。	時間割 各種評価表 看護技術経験録 卒業時満足度調査表 ポートフォリオ ビジョンゴールシート

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育目標や卒業時の到達度の評価を意識して各学年、クラス毎の目標を明確にして教育成果に繋げる工夫が必要である。学生・生徒の主体性を引き出すための支援の在り方も組織的な取り組みを更に整備していく。	

最終更新日付	令和6年5月29日	記載責任者	稲田 由香里
--------	-----------	-------	--------

3-9 教育方法・評価等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	理念に基づき、各科とも指定規則に則り、教育課程を編成している。	毎年、シラバスを見直し教育内容、教育方法を明記している。単位数や時間数、授業内容、授業形態、使用テキスト、評価方法を明記し、学生の予習にも活用できるようにしている。実習は実習の位置づけ、実習体系図を示し、実習の目的、目標が達成できるように実習指導者会議や学生に説明している。	教育進度通りに時間割を編成しているが、非常勤講師との調整上、進度に変更が生じている。講師との調整を工夫したい。	便覧 シラバス 実習要項
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	実習施設や他校と連携し、本校の教育課程の取組に活かせるように取り組んでいる。	在校生・卒業生へのアンケートを行い意見聴取し、対応している。就職先へのアンケートを実施し課題抽出をしている。	外部の意見を反映することを教員が共通認識する。抽出された課題に対し、対策を講じる。	福岡地区看護学校協議会 日本看護学校協議会
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	看護学概論や各専門分野の講義でキャリアデザイン、スキルアップに関して説明している。	専門領域の講師選定の際、専門看護師、認定看護師に依頼している。その際、その旨を説明し学生が将来のキャリアデザインの参考になるように努めている。卒業生のキャリアアップを紹介し将来像を考える機会にしている。	特に問題ない	

3-9-4 授業評価を実施しているか	全ての授業科目について学生・生徒から授業アンケートを実施している。	<p>グーグルフォームよりラーニングシステムへ変更し、集計の迅速化、科目との関連性の把握ができるようにしている。授業評価結果を考察し科目評価を実施している。次年度の改善に活用している。</p> <p>ポストテストの結果を講師にタイムリーに連絡している。</p>	学内教員は授業評価を基に結果を活かすよう努めている。	授業アンケート（C-ラーニング） 各科目授業評価結果
--------------------	-----------------------------------	--	----------------------------	-------------------------------

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
アンケート調査の迅速化により教育内容の検討が進んだ。次年度の教育計画に活用し教育内容の充実に繋げていく。	

最終更新日付	令和6年5月29日	記載責任者	稲田 由香里
--------	-----------	-------	--------

3-10 成績評価・単位認定等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	学則・規定に定め、運用している。終了成績は学生・生徒・保護者に提示している。終了認定は基準に則り、運営会議で決定している。	入学時、便覧やシラバスで説明している。必要時は、随時説明し便覧やシラバスで確認できるようにしている。前期・後期、学期終了時に成績通知している。 進級講師会議、単位認定講師会議、卒業講師会議で個々の成績結果を協議し、結果を通達している。 成績不振者には、都度指導し改善を図っているが未修得科目が発生した段階で、教員会議を経て保護者面談等を実施している。	学習習慣に課題を抱えた状態で入学した場合、習得すべき授業科目が多いため学習方法から指導が必要になっている。個別的な対応の必要性から、入学早期からの支援の在り方が課題である。保護者と連携しながら支援を続けている。支援の方法についてはカウンセラーからのアドバイスも参考にしている。	便覧 進級講師会議議事録 単位認定会議議事録 卒業講師会議議事録 運営会議議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学則、規定に則り、運用しており問題はない。成績低迷者を支援し卒業に繋げていく。	

最終更新日付	令和6年5月29日	記載責任者	稲田 由香里
--------	-----------	-------	--------

3-11 資格・免許の取得の指導体制

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	看護師養成課程であることを学則で明記し位置付けている。	厚生労働省の指定する看護師養成校であり、課程、修業年限、国家試験受験資格、准看護師受験資格等について明確に提示している。		便覧 ホームページ 募集要項
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	年度計画表で指導体制を確認している。	入学時に国家試験、准看護師試験について説明し、3年間、2年間の学習の取組みの重要性を免許取得に関連付けて説明している。 定期的な模擬試験、学外講座の紹介、学内講座、教員セミナー、学校長セミナー、問題集の精選、チューター制、グループ指導、保護者との連携等、指導を強化している。	早期の計画的な学習支援、日々の学習の積み重ねができる環境を整える。	年間教育計画 各学年指導計画 模擬試験成績結果 看護師国家試験出題基準

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
1 年次の基礎専門科目の知識の定着が疾病や看護の理解に繋がることを早期に意識付け、主体的な学習姿勢をクラスで定着させていく。 仲間づくりの段階で学習のサポート体制の仕組み作りを工夫する。臨地実習の学びと関連させながら学習支援を図る。	

最終更新日付	令和6年5月29日	記載責任者	稲田 由香里
--------	-----------	-------	--------

3-12 教員・教員組織

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	教員採用時、教員資格、要件を確認している。	看護教員の臨床経験は全員満たしている。 教員資格のある教員を優先して採用計画を立てている。 実習施設が多いため、臨時の実習指導教員を雇用している。		教員履歴書 14条報告
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	学会、研修会、看護協会研修会の参加は年度計画に組み入れている。	年度初めの教職員合同会議で学会、研修会を提示し教員自身で選択している。		学会・研修会計画表 福岡県看護協会研修計画表
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	組織体制は整備されている。	各科、課長を中心に係長、主任を配置し専任教員の経験年数や力量に応じて役割分担を決定している。	年度末の教員の退職に伴い教育力に差が出ないよう協力体制が必要となる。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
毎年、教員養成講習会に教員を出している。左記講習会は4月～12月までの長期間の講習会となり、事実上、欠員での組織運営となり、教員の協力体制が必須となっている。年々、学生・生徒の指導に時間を要す状況も増加しており、業務整理や効率化が教員の定着率に直結している。働き方改革を進めているが、さらに改善を図っていく必要がある。	

最終更新日付	令和6年5月29日	記載責任者	稲田 由香里
--------	-----------	-------	--------

基準 4 学修成果

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>就職支援については、専任の職員を看護学校に配属し支援を強化している。近年、准看護科の就職内定が遅い傾向がある。支援対策は、入学時はもとより卒業後も市内の医療機関を紹介し地域の医療機関と連携している。</p> <p>就職支援の専属職員は全科学生・生徒の就職支援に繋げるため、常に市内の医療施設から情報を収集し情報を提供しているが、学生・生徒の就職支援の満足度が低いため、今年度より C ラーニング上に求人情報を掲載し、タイムリーに情報を発信している。</p> <p>3 月に学校独自の就職説明会を開催し 3 科の学生・生徒が参加している。准看護科の生徒が卒業後、准看護師として就業できる施設に限りはあるが、1.2 年時の早期から卒業後の就職を検討することは有効である。</p> <p>第 1 看護学科は 2 年生、3 年生が参加し卒業後の就職を早期から検討できる仕組みを作り支援している。新型コロナウイルス感染症が 5 類となり、オンラインから対面への就職説明会に変更した。</p> <p>進学希望者には、進学した卒業生を紹介し進学希望者へ支援している。</p>	<p>学校独自の就職説明会の開催、学習室に随時、求人票を整備・公開し学生が自由に閲覧できるようにしている。</p> <p>就職支援の専属職員は全科学生・生徒の就職支援に繋げるため、常に市内の医療施設から情報を収集し情報を提供しているが、学生・生徒の就職支援の満足度が低いため、引き続き C ラーニング上に求人情報を掲載し、タイムリーに情報を発信していく。</p> <p>第 1 看護学科は、就職に関する「様式」の提出で課長が就職状況を把握し、個別支援に繋げている。</p>

最終更新日付

令和 6 年 5 月 29 日

記載責任者

稲田 由香里

4-13 就職率

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-13-1 就職率の向上が図られているか	各種支援体制を整備し、就職率の向上に努めている。	最終学年の早期から希望の医療施設を把握している。希望の医療施設に就職できなかった場合等、個別相談を受けている。 専属の職員が就職支援を行っている。専属の職員が医療機関から情報を収集し必要な情報を提供することで就職率の向上に繋げている。 ハローワークの職員による就職ガイダンスや就職支援に関する説明会を実施している。	第1看護学科は、早期から支援が必要である。 准看護科の就職内定が遅延傾向である。就職支援を強化する。	就職一覧表 運営会議 受験報告書（様式 15-1） （様式 15-2） 進路決定報告書（様式 16）

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
第1看護学科は全員が就職内定（進学以外）した。准看護科の就職活動が遅延している。情報の早期把握が必要である。	

最終更新日付	令和6年5月29日	記載責任者	稲田 由香里
--------	-----------	-------	--------

4-14 資格・免許の取得率

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	入学時から資格取得について説明し学習を強化している。	問題集を配布し、実習中の学習と国家試験・准看護師試験問題との関連性をオリエンテーションし、主体的な学習を支援した。定期的に学習内容をチェックし不十分な場合は、個別指導を行った。 各種業者模試を取り入れ、模擬試験の偏りに配慮し、都度、成績評価し個別指導に活かした。	実習中の問題集の取組が不十分である。実習の事前学習や実習後の知識確認に問題集を活用する学習方法を示す。	ビジョンゴールシート 学習計画表 業者模擬試験結果 看護師国家試験推移 准看護師資格試験推移

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
看護師国家試験・准看護師試験ともに外部のセミナー、模擬試験等を活用し、また学習環境の提供のため学校開放など対応を行った。合格率と指導方法の関連性の分析・対応が必要と考える。	

最終更新日付	令和6年5月29日	記載責任者	稲田 由香里
--------	-----------	-------	--------

4-15 卒業生の社会的評価

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	今年度より就職先へのアンケートを実施する。	学生・生徒の就職先へGoogleフォームでのアンケートを実施した。実習での訪問先で卒業後の実態を確認した。	Googleフォームで卒業生のアンケートを継続し、年度の比較・分析を行い、在籍時の指導に反映する。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生の社会的評価をGoogleフォームで調査を実施継続する。（卒業後半年後を目安とする。）	

最終更新日付	令和6年5月29日	記載責任者	稲田 由香里
--------	-----------	-------	--------

基準5 学生支援

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>退学、休学、留年への対応は、初期対応が重要となる。成績の低迷や学校生活上の変化に早期に気づくことが大事である。担任や担当者が個別に対応している。必要時、早期に保護者と連携し学習の継続を支援している。</p> <p>3科とも担当制とし複数の教員が関わる体制から学生支援に努めている。実習時期になると心理的に不安定になる学生・生徒がいるため、スクールカウンセリングを紹介し学習が継続できるよう支援している。スクールカウンセリング利用に際しては、守秘義務を徹底し安心して相談できる環境を提供している。</p> <p>経済的な支援は、各種奨学金制度を紹介している。追加で紹介される奨学金制度はホームページで適時紹介している。</p> <p>校納金の管理は、事務課が対応している。減免等を行っていないが、事情が発生した場合は、個別に対応し学習が継続できるよう支援している。</p> <p>准看護科や第2看護学科の学生・生徒が勤務施設を退職した場合は、学校専属の就職支援の職員が勤務施設を紹介している。</p> <p>意見箱「みんなの声」を設置し、学生・生徒が気軽に意見できる機会を作って対応している。</p>	<p>終了試験の成績結果や技術試験の結果をもとに担任を中心に個別支援している。必要時は、三者面談を行っている。</p> <p>第1看護学科では、オンラインで保護者会を実施し学生支援に協力をお願いした。</p> <p>今後はチューター制、ピアサポート制を導入し学生支援を強化する。</p>

最終更新日付

令和6年5月29日

記載責任者

稲田 由香里

5-16 就職等進路

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	学校専属の就職支援の職員と課長及び3年生担任が計画的に支援している。	<p>専属の就職支援職員が市内の求人を適時把握し学生・生徒の相談に対応している。又、市内の医療施設と密に連携し情報提供している。</p> <p>年に1回、勤務施設長会議を開催し、勤務する学生・生徒の支援と連携協力を依頼し支援体制の強化を図っている。</p> <p>求人情報や募集要項を整理し、いつでも閲覧できる環境を整備している。ラウンジや掲示板へも適時求人情報を提示している。最新求人はC・ラーニングでタイムリーに情報提供している。</p> <p>就職説明会を開催し、直接病院と関わるができる機会となり、個別相談もできている。</p> <p>就職活動の支援として、担任やマナー講師、事務課職員で就職活動の方法、ルール、履歴書の記載及び面接の受け方を説明し随時、個別対応をしている。</p>	求人情報をCラーニング上で提示を継続する。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
勤務施設に所属する学生・生徒の就職支援は、勤務施設と連携し確認しながら進めている。入学時から卒業後の就職を視野に入れ主体的に取り組めるような体制作りを進めている。	

最終更新日付	令和6年5月29日	記載責任者	稲田 由香里
--------	-----------	-------	--------

5-17 中途退学への対応

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-17-1 退学率の低減が図られているか	年度目標で 5%以内を目指している。	<p>退学者を出さない事を目標に各科課長、係長、主任と担任や担当者が常に連携し対応している。</p> <p>保護者や勤務施設とも連携し学習の継続を支援している。</p> <p>必要時はスクールカウンセリングを勧め、専門家の支援を受けている。</p> <p>進路変更の場合は、必ず保護者と連携し、本人や保護者の意向を確認しながら時間をかけて対応するよう心がけている。</p> <p>看護職を目指す意思が不明瞭な状況で入学し、進路途中で迷いが生じる学生・生徒に対しては十分な対話を心がけている。</p>	<p>経済的、精神的、人間関係、成績低迷など理由は様々であり休学、退学者が発生している。できる限り早期に個別に対策を図っているが 5%以内の目標は達成できていない。</p> <p>心療内科の予約に数週間要する状況もあり早期受診が課題となっている。</p> <p>チューター制やピアサポート制の充実を図る。</p>	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教員のきめ細やかな対応が学生・生徒一人ひとりの気持ちの把握に繋がっている。様々な事情から進路変更する場合も後悔しないよう本人の気持ちを第一に考えた対応を心がけている。一時期より退学者は、減少したが退学率の低減は課題である。</p>	

最終更新日付

令和 6 年 5 月 29 日

記載責任者

稲田 由香里

5-18 学生相談

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	担当制をとり、相談しやすい体制を整えている。 スクールカウンセラーを置いている。 学校専属の就職支援職員を配置している。	週1回、スクールカウンセリングを設定し予約制としている。カウンセリング室は、入退室が他の学生・生徒から見えない部屋を選択し運用している。 学生・生徒の相談内容は守秘義務を遵守している。 休学した場合や保護者もカウンセリングの継続を希望した場合はカウンセリングを計画している。 家族でカウンセリングを希望される場合も対応している。	担任等が個別対応する際の部屋が少ない。特に個人的な内容の場合、在校生の目に入らない部屋が望ましいので、保健室を使用している。建物の環境も大事な要素であるが構造上、やむを得ないと考える。 チューター制やピアサポート制の充実を図る。	カウンセリング予約表 カウンセリング予約ノート

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
3 科共、学年及び実習担当制をとっているがいつでも相談できる体制になっている。教員やカウンセラーは個人情報の保護を遵守し、状況によって共有する場合は、原則、本人の同意を得たうえ、同意のあった学生について教員間で共有している。カウンセリングは、本人の希望及び教員の勧めで本人が同意して受けているが、本人の意思を最優先して対応している。	

最終更新日付	令和6年5月29日	記載責任者	稲田 由香里
--------	-----------	-------	--------

5-19 学生生活

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	<p>各科により該当する制度は異なるが、福岡市医師会看護師等修学資金、福岡県看護師等修学資金、日本学生支援機構奨学金、福岡県教育文化奨学財団、江口姉妹基金など、希望者に経済的な支援体制を整備している。</p> <p>専門実践教育訓練講座の指定を受け、教育訓練給付金制度を受け付けている。</p>	<p>各種修学資金制度についてオープンキャンパスや入学時に説明会を開催している。希望者を募り支援しているが人数枠がある。</p>	<p>在学中に経済的問題が発生した場合の支援が難しい。</p>	<p>福岡市医師会看護師等修学資金資料 福岡県看護師等修学資金資料 日本学生支援機構奨学金資料 福岡県教育文化奨学財団資料 江口姉妹基金資料</p>
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	<p>学則、健康管理規定で整備している。</p>	<p>規定に基づき、毎年4月に健康診断を実施している。検査結果がわかり次第、校医が結果確認をしている。</p> <p>異常を指摘された場合は、再検査、精査を指示し健康状態を把握している。</p> <p>実習施設からワクチン接種の要望もあり計画的なワクチン接種を指導し抗体価を確認している。</p>		<p>便覧 健康診断に関する表簿</p>

5-19-3 業者が運営する学生寮等と提携し生活環境支援体制を整備しているか	業者が運営する学生寮を紹介している。	オープンキャンパスに学生寮の業者のコーナーを設けて紹介している。 校内に学生寮のパンフレットを設置している。		学生寮のパンフレット
--	--------------------	---	--	------------

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>修学資金制度や健康管理に関して特に問題となることはなかった。新型コロナウイルス感染症は5類となったが、医療機関での実習があるため学校独自の体調管理表を作成し、毎日、学生生徒の健康状態の把握に努め、感染対策は実施できた。</p>	

最終更新日付	令和6年5月29日	記載責任者	稲田 由香里
--------	-----------	-------	--------

5-20 保護者との連携

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-20-14 保護者との連携体制を構築しているか	保護者会を開催し連携体制を整えている。令和5年度初めは新型コロナウイルス感染症が5類となる前だったためWeb保護者会とした。 定期的に保護者宛文書を発送し協力を依頼している。	コロナ禍のため、入学式については保護者の出席は案内しなかったが、式典後のユーチューブ配信を実施した。 戴帽式、卒業式は保護者の出席の案内をした。 保護者宛文書は、季節休暇、終業、臨時登校、成績表送付時に発送し学習支援に協力を得ている。 保護者会に出席できなかった保護者には保護者会資料を送付している。 学業不振、学校生活に問題を持つ学生・生徒については保護者と密に連携し、必要時は三者面談を行い家族も含めて支援している。		保護者会資料 各保護者宛文書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
保護者とは電話等で連携を図っており、必要時は保護者との面談を実施し学業継続等を支援した。学校から文書や資料を送付し連携を心がけた。	

最終更新日付	令和6年5月29日	記載責任者	稲田 由香里
--------	-----------	-------	--------

5-21 卒業生・社会人

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	同窓会設置に向けて、検討予定である。	同窓会設置に向けて卒業時にクラスの代表者を選定している。	同窓会を実施する。	
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	学則に既修得科目の認定を明記している。	入学時に既修得科目の認定の説明を行い、申請者の履修認定を支援している。 専門実践教育訓練講座の教育訓練給付金制度を運用している。		便覧様式（既修得単位の認定申請書）

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
専門実践教育訓練講座としての認定を受け、社会人入学者の経済面を支援している。社会人の志願者が増加しているため、社会人入学者の支援に向けた学習支援に繋げていく。	

最終更新日付	令和6年5月29日	記載責任者	稲田 由香里
--------	-----------	-------	--------

基準 6 教育環境

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>平成 4 年早良区百道浜に新築移転後 30 年が経過した。平成 27 年、第 1 看護学科を開設するにあたり、全面改修し学習環境を一新した。図書室に専用の司書を採用し学生の学習を支援した。</p> <p>本年度より、第 1 看護学科、准看護科共に新カリキュラムとなった。新カリキュラムに関連した技術演習の強化に伴い、各種モデル人形等、教材教具を整備した。</p> <p>コロナ禍で遠隔授業の体制が進み Wi-Fi 環境を整備した。</p> <p>防災体制は概ね整備しており、早良消防署の指導の下、年 1 回防災訓練を実施している。第 2 看護学科は夜間登校のため、早良消防署には防災訓練実施を報告している。</p> <p>医師会館の 2 階から 5 階が看護学校である。医師会館や学校に防犯カメラを設置し、会館入り口にガードマンを配し防犯体制を整備している。令和 3 年度防犯カメラを増設した。</p> <p>本校は、地下鉄西新駅から徒歩圏内、西鉄バスのバス停すぐの立地条件で天神や博多からのアクセスは良好で通学しやすい環境である。</p> <p>3 科とも実習施設は、福岡市内の医療施設において実習できる環境で恵まれている。今後も実習施設の協力を維持し実習を支援していく。</p> <p>令和 4 年度の新カリキュラム運用から 2 クラス合同授業用として 3 階、5 階に大教室を設けた。</p>	<p>医療施設との連携は 3 科とも確立している。実習における学習成果は図りしれず、学生・生徒一人ひとりの看護観の確立に果たす役割は大きい。今後も実習施設と密に連携していく。</p> <p>防災については、地震、津波等の防災全般における組織体制を定期的に確認し運用していく。</p>

最終更新日付

令和 6 年 5 月 29 日

記載責任者

稲田 由香里

6-22 施設・設備等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	3 科のカリキュラムに対応した整備に努めている。	<p>3 科教員が教材委員及び図書委員を担当し、定期的に委員会を開催し運用している。</p> <p>夏季休暇に校内の教材を点検整備している。モデル人形も購入業者から毎年定期的な点検を依頼し整備している。</p> <p>図書は司書が毎日整備点検することで活用度が増加している。</p> <p>高額な教材や備品は購入計画を立てて計画的に購入できている。</p> <p>実習室使用予定表をデジタル化したため、共有確認が容易になった。</p> <p>卒業生へも図書室の提供を行っている。</p>	<p>新カリキュラムから学内演習や学生・生徒の練習頻度が増加している。そのため、シミュレーターや教材を共有することが多いため、点検確認や計画的な購入が必要である。</p> <p>依頼があった場合は卒業生へ施設提供を行っているが、頻度は少ないため周知をしていく必要がある。</p>	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
モデル人形や教材教具の使用頻度が増えたため、定期点検等を含め、教育環境の整備に努めている。教材室・実習準備室の整理整頓、教材の定期点検は年度計画に組み込み実施した。	

最終更新日付

令和6年5月29日

記載責任者

稲田 由香里

6-23 学外実習、インターンシップ等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	学外実習の教育体制は確立している。海外研修は実施していない。	<p>臨地実習は、実習施設と事前の指導者会議を実施し連携を図っている。実習施設から講師派遣を依頼し教育の連携もできている。</p> <p>解剖見学、脊損センター見学等の施設見学を実施した。</p> <p>また実習や行事等のアンケートを取り教育効果の確認をしている。</p>		臨地実習要項 施設見学資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>解剖見学や脊損センター見学後、理解が深まり疾患や看護に活かしているため、今後も継続する。</p> <p>臨地実習について、評価基準の明確化、教育効果の確認も実施しているため、結果を次年度の参考としていく。</p>	

最終更新日付	令和6年5月29日	記載責任者	稲田 由香里
--------	-----------	-------	--------

6-24 防災・安全管理

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	職員の防災体制は整備されている。 防災規定に規定している。	防災規定に学校防災マニュアルを示し、学内や実習場で災害が発生した場合を具体的に示している。 学校安全計画、危機管理マニュアルが作成できていない。	次年度は学校安全計画、危機管理マニュアルを作成、運用していく。	
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	防災規定に規定し、説明している。 AED を 2 台設置している。	年に 1 回、防災訓練を実施し防災器具の取り扱いを説明している。 防災訓練には早良消防署に立ち合いを依頼し安全な避難事故防止の観点で指導を依頼している。 外部講師を招き、救命救急講習を受講している。 学生・生徒、教員は、損害保険に加入し対応している。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
防災は、防災規定を定め、学校防災マニュアルに示し説明している。 年に 1 回災害訓練を実施し体制を整備しているが、今年はコロナ禍のため DVD 視聴による災害訓練とした。毎年、損害保険に加入し適時対応できる体制を整備している。学校安全計画、危機管理マニュアルの運用をしていく。	

最終更新日付	令和 6 年 5 月 29 日	記載責任者	稲田 由香里
--------	-----------------	-------	--------

基準 7 学生の募集と受入れ

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生募集は、ホームページや業者による広報、オープンキャンパス、学校訪問、進学ガイダンスなど学生募集活動を実施している。今年度はコロナの影響からオンラインによるオープンキャンパスも取り入れた。個別対応の希望者へも対応した。</p> <p>福岡市内・県内の看護大学の急増、高学歴化、少子化により 3 科共定員数の確保は厳しい状況である。</p> <p>入試試験は、複数回実施し、入学者を確保しているが看護大学増加の影響が大きい。</p> <p>入学試験は、試験問題、グループディスカッション、個別面接を実施し、適正かつ公平な方法で選考している。</p> <p>校納金は、教育内容を勘案し、各科で適正な学費設定を行い運用している。</p> <p>令和 5 年度の学校案内から内容を大幅にリニューアルした。</p> <p>看護の高学歴化、少子化の背景から准看護科の志願者減少が加速したため、令和 3 年度から准看護科の定員を 120 名から 80 名に減じた。第 1 看護学科、第 2 看護学科、准看護科は、少子化、高学歴化、看護大学が急増する中、志願者数の動向が安定しない傾向が続き、令和 5 年度は全科で定員割れが生じた。有効な対策を見出すのは難しいが、志願者確保のためにも魅力ある学校づくりを目指していきたい。</p>	<p>ホームページをリニューアルし、情報発信の在り方を工夫している。</p> <p>SNS を活用した広報も検討している。</p> <p>学生確保対策として、学校案内の大幅リニューアルを進めた。令和 5 年度入学生から新しい学校案内とした。</p> <p>入学生の確保のため、インターネット出願も導入している。</p>

最終更新日付	令和 6 年 5 月 29 日	記載責任者	稲田 由香里
--------	-----------------	-------	--------

7-25 学生募集活動は、適正に行われているか

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	学校訪問、進学ガイダンス、学校案内、ポスターを県内、近隣県に発送している。	入学実績のある高校の進路指導部に訪問の連絡を入れて計画的に実施している。その際、入学者の情報を提供し連携を図っている。	本校入学実績のある高校との連携構築。	募集要項、ポスター 学校訪問資料 入試委員会資料 運営会議資料
7-25-2 学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	オープンキャンパス、ホームページ、学校訪問、進学ガイダンス、学校案内、ポスター等で募集活動を実施している。	募集活動の時期や方法は入試会議、運営会議で検討後、計画的に実施できている。 今年度より社会人入試を実施した。	試験内容(数学・英語の選択制)の変更、オープンキャンパスの内容変更(模擬講義)の実施をする。	

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
今年度初めはコロナ禍のため、積極的な募集活動ができなかったが、個別対応を増やし対応した。高校生や社会人に広く認知され、志願者を増やす方法を更に工夫したい。募集活動は最重要項目である。	

最終更新日付	令和6年5月29日	記載責任者	稲田 由香里
--------	-----------	-------	--------

7-26 入学選考

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	本校独自の入学試験規定に選考基準を明記し運用している。入試委員会によって公正に審議し入学選考を実施している。	社会情勢、入学生の動向や近隣校の試験科目等を参照し入試科目等を検討している。入学試験に関しては、入試委員会、運営会議で決定している。	入学選考基準に則り、選考しているが、受験生の動向が毎年安定していない。	福岡市医師会看護専門学校入学試験規定 入試委員会資料 運営会議資料
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	現況のデータ把握はできているが、入学選考結果を授業改善に活用していない。	学科毎の合格率・辞退率などの現況のデータは蓄積している。入学選考結果から学生生徒の成績等の分析を実施していない。	入学選考結果と入学後の成績等の傾向を分析し授業方法や授業形態を工夫する。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
志願者の確保に関しては、入試科目や入試科目数が影響するため、志願者の動向や採点結果を検討している。入学選考に関しては、全ての試験において面接試験を実施し適正等を判断している。第1看護学科、准看護科においてはグループディスカッションと面接を実施し多角的に適性等を判断し、入試委員会、運営会議で最終審議している。	

最終更新日付	令和6年5月29日	記載責任者	稲田 由香里
--------	-----------	-------	--------

7-27 学納金

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	算定している。	教育内容、必要経費から概ね妥当な金額を算定している。徴収する金額は学校案内に明示している。	消費税や社会情勢の変化から常に学納金を査定する必要がある。	募集要項
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	適正な取り扱いを実施している。	入学辞退者に対する授業料返還の取り扱いに対しては合格者文書に明示している。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
校納金は近隣校と比較しても問題はなく標準的な金額である。今後も社会情勢や教育内容から経費を算定し適切な水準を保持する。	

最終更新日付	令和6年5月29日	記載責任者	稲田 由香里
--------	-----------	-------	--------

基準 8 財務

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>中長期的な財政基盤を安定させるために、定員数の確保は必要不可欠である。オープンキャンパスの開催時期を早めたことや、学校見学会の随時開催、および進学相談会などを活用し積極的な広報活動に努め、入学定員の充足を図る。また、退学・休学者を出さない体制づくりにも取り組んでいる。</p>	<p>少子化等の状況下であっても、入学者の確保は重要である。これまでの紙の願書に加え、Web出願システムの導入など出願方法の追加や、第1看護学科においては、令和6年度入試より社会人入試を新たに実施するなど、早期の入学者確保に取り組んでいる。</p>

最終更新日付	令和6年5月31日	記載責任者	芥川 晴嗣
--------	-----------	-------	-------

8-28 財務基盤

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	中長期的な財政基盤を安定させるために、定員数の確保は必要不可欠である。積極的な広報活動に努め、入学定員の充足を図る。また、退学・休学者を出さない体制づくりにも取り組む。	紙の願書に加え、Web出願システムの導入など出願方法の追加や、第1看護学科においては、令和6年度入試より社会人入試を新たに実施するなど、早期の入学者確保に取り組んでいる。	入学者数が激減した場合の収支状況および対応については、入学者数毎の収支シミュレーション等を行い、最善な対応について準備をしておく。	
8-28-2 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	財務検討会の実施。	四半期ごとに財務検討会を行っている。	借入金などは行っていないが、入学者等が激減した場合には経営状況が一気に悪化する可能性がある。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生・生徒の確保が難しい状況下であっても、安定した収入の確保は重要である。事業活動支出の削減にも努める必要がある。	

最終更新日付	令和6年5月31日	記載責任者	芥川 晴嗣
--------	-----------	-------	-------

8-29 予算・収支計画

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	中期的な事業計画を策定し、優先度・重要度を考慮しながら単年度の予算計画の策定。	新カリキュラム移行に伴う教育時間数の増加に対応するための設備投資について、収支状況を見ながら計画的に行っている。	感染症の流行や、災害発生等の緊急事態に伴う柔軟な対応。	年度予算書
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	予算及び計画に基づき、適正な執行管理に努める。	学科毎に予算管理を行っている。	年度当初の予算から大きく乖離しないよう、導入している会計システムにおいて、随時予算と実績を比較することで適正な管理を行っている。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
経費内容を常に見直しつつ効率化を図ることが必要となる。削減すべき支出は適宜抑えることで、安定した学校運営を行っている。	

最終更新日付	令和6年5月31日	記載責任者	芥川 晴嗣
--------	-----------	-------	-------

8-30 監査

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	監査については、外部・内部監査を受けており、適正かつ計画通りの実施。	会計監査については、四半期毎に公認会計士による外部監査、監事による内部監査を実施している。	特になし。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
監査については、外部・内部監査を受けており、適正かつ計画通り実施されている。指摘された内容についても、適切に対応している。	

最終更新日付	令和6年5月31日	記載責任者	芥川 晴嗣
--------	-----------	-------	-------

8-31 財務情報の公開

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	財務に関し書類整備し、看護学校事務室および、福岡市医師会の受付にて閲覧に供する。	一定の範囲の情報について、本校ホームページに掲載し、看護学校事務室および、福岡市医師会の受付にて閲覧可能となっている。	特になし。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
財務に関し書類整備ができており、看護学校事務室および、福岡市医師会の受付にて閲覧可能となっている。 常にコンプライアンスに基づいた対応を行う。	

最終更新日付	令和6年5月31日	記載責任者	芥川 晴嗣
--------	-----------	-------	-------

基準 9 法令等の遵守

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>法令に関しては、医療専門課程の専修学校として遵守している。保健師助産師看護師学校養成指定規則に則り、教育課程を編成し運用している。</p> <p>個人情報保護については、個人情報保護に関する規定を策定し周知徹底を図っている。</p> <p>特に実習施設の患者情報等の取り扱いは、実習要項に示し実習施設と共有し学校の管理方法を厳守している。学生・生徒は誓約書に記載し書面で誓約している。</p> <p>自己点検・自己評価は、令和元年度から学校関係者評価を設置し運営している。</p>	<p>学校教育法、学校教育法施行令、学校教育法施行規則 保健師助産師看護師法、保健師助産師看護師法施行令 保健師助産師看護師施行規則 保健師助産師看護師学校養成所指定規則 14 条報告 看護師等養成所の運営に関する指導ガイドライン</p>

最終更新日付	令和 6 年 5 月 29 日	記載責任者	稲田 由香里
--------	-----------------	-------	--------

9-32 関係法令、設置基準等の遵守

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	規程に則り運営している。 ガイダンス、オリエンテーションで周知を図っている。 誓約書で確認している。	指定規則、指導要領、ガイドラインを確認しながら教育活動を実施している。 個人情報保護、SNS、ハラスメント防止を規定し防止に向けて便覧で周知している。 特に SNS に関しては、都度注意喚起している。 コンプライアンスに関する整備ができていない。	コンプライアンスに関する相談窓口の整備を行う。 法令遵守に関する教育を実施する。	14 条報告 便覧 誓約書

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
関係法令、設置基準を遵守し適切に運営されている。 コンプライアンスに関する整備を必要とする。	

最終更新日付	令和 6 年 5 月 29 日	記載責任者	稲田 由香里
--------	-----------------	-------	--------

9-33 個人情報保護

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	3 科共通で対策を実施している。	<p>学生・生徒の個人情報、成績管理はファイネスで管理し教職員独自の番号で取り扱い、漏洩予防している。</p> <p>個人情報保護に関する誓約書を学校長宛提出している。</p> <p>実習においては、実習記録や情報管理について病院に誓約書を提出している。実習記録は可能な限り情報を暗号化し、個人が特定できない方法を工夫している。実習記録類は確実に管理し、情報は都度、細断処理している。</p> <p>看護研究においても病院情報、個人情報が特定できない表現として学習を深めている。</p> <p>実習記録や看護研究は卒業後、適切に処理している。</p>		<p>誓約書（実習施設提出用）</p> <p>個人情報保護に関する誓約書便覧</p> <p>実習要項</p> <p>実習記録</p> <p>情報ノート</p>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>個人情報保護に関する対策は、3科共通で便覧や実習要項に示し厳重に管理している。実習施設との指導者会議において個人情報の取り扱いは共通認識し電子カルテの取り扱いから病院情報に至る一切の情報の守秘を学生・生徒に周知徹底している。記録物等の確認方法もルール化し全員が意識的に実施できるよう指導を徹底している。対策強化の効果から、紛失や漏洩はない。</p>	

最終更新日付

令和6年5月29日

記載責任者

稲田 由香里

9-34 学校評価

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	自己点検・自己評価に関する規定に基づき実施している。	教員全員が自己評価を実施している。評価結果を踏まえ、自己点検自己評価委員会を実施し、改善に取り組んでいる。	教員の自己評価の認識が低い傾向がある。評価の視点の改善を図る。	自己点検自己評価規定 令和 2 年度から私立専門学校等評価研究規定、専門学校評価基準 Ver.4.0 を採用
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	実施している。	教員評価、学生評価結果を公表している。		
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	実施している。	学校評価規定に則り評価を依頼し、実施している。		
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	ホームページで公表している。	ホームページで公表している		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
令和 2 年度から私立専門学校等評価研究機構、専門学校評価基準 Ver.4.0 を採用している。専門学校評価基準の内容について表現を工夫したが今年度も教員の評価が低い傾向があり次年度への課題として改善が必要である。	

最終更新日付	令和 6 年 5 月 29 日	記載責任者	稲田 由香里
--------	-----------------	-------	--------

9-35 教育情報の公開

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	ホームページで入試状況、カリキュラム、学校生活、就職状況など学生・生徒の個人情報に十分配慮した上で情報を公開している。	ホームページ、パンフレット等の写真のモデルの学生・生徒に説明し、承諾を得た上で教育情報を公開している。必要時、保護者の同意を得ている。 教育内容、教職員等の公開が不十分である。	教育内容・教職員等の情報公開の充実を図る。	自己評価・自己点検の資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>沿革、学校の特色、教育内容、資格取得、入試情報等についてホームページや学校案内、募集要項で公開している。</p> <p>看護師国家試験、准看護師試験結果や卒業後の就職先等も情報公開している。今後も個人情報を遵守しながら、不足している情報をわかりやすいように公開していく。</p>	

最終更新日付	令和6年5月29日	記載責任者	稲田 由香里
--------	-----------	-------	--------

基準 10 社会貢献・地域貢献

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校は、医師会立の看護師養成所として大正 5 年に開校以来、令和 5 年 3 月まで多くの看護職を輩出し、大正から令和の時代まで地域医療に貢献してきた。</p> <p>校内で地域の障がい者施設の製品の販売を行い、障がい者と学生・生徒の交流になっている。地域のボランティア活動や実習施設の行事にも参加し地域と交流を図っているが十分とは言えない。養成所が設置されている地域は学生・生徒にとっては、重要な学習環境あるため、地域社会のニーズを把握し人的・物的資源を活用しながら積極的に交流を図りたい。令和 4 年度から運用する新カリキュラムにおいて、地域・在宅看護論が改正の柱になっている。学校行事として地域文化祭を開催し地域貢献など地域との交流や連携の仕組みづくりとしている。</p> <p>授業や教科外活動においても地域交流、社会貢献活動を組み入れている。</p>	

最終更新日付	令和 6 年 5 月 29 日	記載責任者	稲田 由香里
--------	-----------------	-------	--------

10-36 社会貢献・地域貢献

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	地域文化祭を開催する。	地域文化祭を2日間開催し、地域の方の健康増進や学生との交流の場としている。		地域文化祭

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
地域文化祭においては、地域の幼児、学童から高齢者の方が来校し、健康に関するイベントに参加したり、出し物に参加したり地域交流が図れた。	

最終更新日付	令和6年5月29日	記載責任者	稲田 由香里
--------	-----------	-------	--------

10-37 ボランティア活動

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	1 年次の教科外活動に設定している。 授業においてボランティア活動を導入した。	1 年次にボランティア活動を実施し報告会を行い共有し終了している。 授業として地域で行われているボランティア活動に参加している。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
第2看護学科は、勤労学生のためボランティア活動を教科外活動に取り入れていない。第1看護学科は教科外活動としてボランティア団体と提携し全員が活動を実践している。准看護科は授業の中でボランティア活動を実践し地域を知ることや地域の生活者としての認識が深まり、活動の重要性が理解できている。	

最終更新日付	令和6年5月29日	記載責任者	稲田 由香里
--------	-----------	-------	--------

令和5年度 自己評価報告書に対する学校関係者評価

I. 教育目標と令和5年度の重点目標に対する評価

重点目標を実現するため、それぞれの目標に対して達成計画が定められ、取組方法が具体的に示されている。

学生のアンケート調査の結果についても、年度を経る毎に評価が高まっている項目が多い。特に「教育理念・目的・目標に沿った教育・指導」に関する項目や、講義の満足度については伸びが顕著であり、カリキュラムの内容や意義が、学生にも理解されているのではないかと。また、学習支援体制の満足度についても伸びており、きめ細かな指導が学生に評価されているものと思われる。

一方で、教科外活動の満足度については伸びが見られなかったため、教科外活動の意義を確認しながら遂行していく必要がある。

国家試験、資格試験の100%達成や入学生確保、教職員の資質向上についても、達成計画や取組方法を具体的に定めて努力していることは評価できるが、結果が伴っていないため、更なる検討と対策が求められる。

引き続き、医療の高度化、重症化、高齢化に対応できる専門性の高い看護判断能力、看護倫理、コミュニケーション能力等を備えた人材育成を目指し続けて欲しい。

なお、教員の職務満足度を高める取り組みの必要性が指摘された。

II. 基準に対する評価

基準1. 教育理念・目的・育人人材像について

卒業時満足度調査の学生の満足度は高い。

基準2. 学校運営について

人事・給与の項目で評価が低く出ているが、問題なしと思われる。

基準3. 教育活動について

キャリア教育・教員に関する項目に課題があるように思われる。

基準4. 学習成果について

ほぼ全員が就職内定を得ていることは成果が出ており評価できる。

基準5. 学生支援について

学生支援は幅広い分野に及ぶが、取り組んでいると思われる。

卒業生への支援は難しいが、「場」は設定しているということが大事である。

基準6. 教育環境について

学生のアンケート調査で、施設・設備に関する項目の満足度が伸びており、評価できる。

基準7. 学生の募集と受入れについて

金額は低くてもよいが、多くの受験生が獲得できるような「奨学金」のシステムを導入してもよいのでは。

基準8. 財務について

コンプライアンスに基づいた対応で評価できる。

基準 9. 法令等の遵守について

関係法令を遵守し適切に運営されている。

基準 10. 社会貢献・地域貢献

令和4年度より地域の方に開かれた「地域文化祭」を開催しており、今後の積極的な推進を期待したい。